

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・プロ野球オープン戦の子チケットが良く売れるなど、客の財布のひもがだいぶ緩んできており、販売量が前年比105.9%と好調に推移している。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今年の1月は曜日の配列が悪く心配していたが、遠出をする人が少なく、近隣で買物をする人が増えたことに寒さが急にやって来たことが重なり、来客数が増え、コートやジャケットの重衣料などが相当売れた。
	やや良く なっている	家電量販店（店長）	販売量の動き	・主要商品の売上がすべて前年を上回っている。特にマッサージチェアが前年比300%、薄型テレビが250%、エアコンが180%とよく伸びている。また、パソコンの売上が回復したのも大きい。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・30代前半ぐらいの若い夫婦の展示場への来場が増えてきている。若い方でも家を持ちたいといった願望が強まってきている。
変わらない		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・冬物商品の割引セールがスタートしたが、客の動きが鈍い。特に、冬物衣料に対する購買意欲が低く、来客数も減っている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数はわずかに前年割れとなったが、売上高は前年を確保した。ファッション関連商品やブランド商品群が堅調に推移したほか、各部門ともほぼ前年を確保した。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・余計な物は買わない。欲しい物は限界まで我慢し、買うときには良い物を購入するといった客の様子に変化はみられない。個人消費の低迷はまだまだ続いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・暖冬の影響により、冬物はあまり売れていないが、定番商品がそこそこ売れているので、販売量はあまり変わらない。ただし、1月に入って、ビールの値上げで酒の売上の伸びが良くないのが気になる。
		スーパー（店長）	単価の動き	・特売をすれば売れるという状況は、だんだんなくなってきており、必要な物以外は買わない傾向が強くなってきている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・寒くなってきたので1月のバーゲンスタートから好調に推移しており、ジャケットやコートなど重衣料の売上が例年に比べ伸びているが、一時的な動きであり、景気回復によるものとはいえない。
		家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は先月に比べて多少悪くなっているが、冷蔵庫などの売上が好調なため、客単価は上がっている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・来客数は先月に比べて多くなったが、商談の期間が伸びており、買い控え感がうかがえる。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・リサイクル法が今月よりスタートしたが、客にはあまり抵抗もなく、スムーズにスタートしている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・受注量は計画通りにいったが、1月から施行されたりサイクル法や軽自動車の希望ナンバー制の説明・手続の手間が増えたため、契約を締結するまでの時間がかかりかかった。また、価格面での競争も激しくなっている。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・単価が下がっており、販売量を増やしても、売上の増加にはつながらない。
		都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・人の動きは、若干良くなってきているが、単価が依然として下がっており、売上自体は変わらない。単価と人の動きには負の相関関係がある。
		設計事務所（所長）	それ以外	・民間のマンション開発物件以外では、あまり大きな投資がみられない。
		やや悪く なっている		商店街（代表者）
一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子			・同業者に聞くと、スーパーや大型店の出店が多く、小規模小売店の売上がどんどん落ちていっている。このままだと、零細販売店は大規模販売店に売上を奪われてしまうのではないかと心配している。

		一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・年末年始の曜日の並びが悪かった上、天候が悪かったことから、売上は非常に低調であった。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・2月3日の節分の豆商材とバレンタイン関係の動きが悪い。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・既存店の来客数を3か月前と比べると、昨年比が105.7%から102.2%へと3.5ポイント悪くなった。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数はあまり変わらないが、客単価は少し下がっている。また、競合店が周りにできたため、売上が少し下がっている。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・正月の独特な華やかな雰囲気は感じられず、若者の帰省客もまばらで、平日と全く変わらなかった。スーパーの正月長時間営業が固定化したため、正月の来客数も増えなかった。また、節分用の商品予約もなく、全体的に盛り上がりには欠けている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・今年に入って、寒い日が続いており、来客の動きが鈍い。昨年に比べて、特にスキー客の予約状況が思わしくない。また、東京への航空券の予約状況も今一つであり、春の個人、グループ旅行の相談も少ない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・正月が明けてから夜に飲みに出る人が、ぐっと減った。昼も冷え込みがあまり厳しくなく、暖かい日が続いているので、客が少なく、今月も非常に悪い。
	悪くなっている			
企業動向関連	良くなっている			
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・東海地区における、排出ガス規制の買換え需要から、受注が好調である。
		通信業（営業担当）	それ以外	・年度末や来年度を意識したIT化、情報化への設備投資の提案に乗ってくれる企業が増えてきた。
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月の年度末に向かって、例年どおり忙しくなった。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・円高の影響により、収益が悪くなってきている上、販売価格の値下げ要請があり、価格面でも厳しい。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・冬物衣料のバーゲン中であるが、全般的に小売店も量販店も、昨年以上の不調のようである。特に高額商品の動きが鈍く、消費マインドはまだ低い。
		公認会計士	取引先の様子	・取引先の集金状況がいまだに悪く、資金繰りの良くない状況が続いている。また、資産表等から判断すると、売上も利益も伸びていない企業がほとんどで、依然、景気は良くない。
		輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・愛媛県や高知県での荷物の動きがあまり良くない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・一部、製造業で好調であるが、経済基盤が高知県内の企業は、受注高、受注活動も低調である。
	やや悪くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今年になって、商品の受注が全くない。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・従来商品の受注が極端に落ちており、新商品やギフト、SP（販促）商品で辛うじて前年度実績に近いところを維持している。	
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・台風被害を受けていた青果物の出荷がほぼ回復してきたが、期待していた一般貨物の初荷の動きがさっぱりで、前年を大きく下回っている。	
悪くなっている	建設業（総務担当）	それ以外	・工事高は前年並みを確保できているものの、し烈な受注価格競争のため、収益は大幅に悪化している。	
雇用関連	良くなっている		-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数としては、4月の年度初めに向け、即戦力となる人材を採用したいという企業が増え、求人広告の需要が少し伸びている。
	求人情報誌製作会社（従業員）	求人数の動き	・求人数の動き、数共に、業種によって非常にむらがある状況が続いている。	

	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・求人情数及び求人数の増加が見受けられる。
変わらない	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人自体は相変わらず微増を続けているが、派遣、業務請負等の求人によるものであり、正社員の求人数は横ばいで推移している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規の求職者数は、前年に比べ再び減少に転じた。しかし、これは卸売・小売業が減少したことによるものであり、逆に医療・福祉では、看護師、介護福祉士などの有資格者の欠員補充による求人が増加している。
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・正社員希望の求職者が、パートや臨時的求人への応募に変更するケースがみられ始めている。
悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・どこの企業とも広告出稿の意欲がない。